

平成29年度



# 奈良県職員採用（任期付職員）募集案内

＜滞納徴収員＞

平成30年3月16日  
奈良県総務部人事課

受付期間 平成30年3月16日（金）～平成30年4月6日（金）

※ 募集に関する問い合わせ及び応募先は、  
奈良県総務部人事課人事政策係

〒630-8501 奈良市登大路町30  
電話 0742-27-8057

## 1. 募集内容

採用職種	勤務地	採用予定人員	職位	職務内容
滞納徴収員	主な勤務地は①～③のいずれか 他の勤務地（①～③）でも不定期に勤務する場合あり  ①奈良県税事務所 （奈良市法蓮町757 奈良総合庁舎内） ②中南和県税事務所 （橿原市常盤町605-5 橿原総合庁舎内） ③自動車税事務所 （大和郡山市満願寺町60-1 郡山総合庁舎内）	3人	係長級	県税の滞納処分に関する業務に従事する。 ○市部等への随時派遣により、個人県民税等の滞納処分を行うとともに、職員に対して支援・指導を行う。 ○県税（自動車税等）の滞納者に対して、早期に滞納処分（差押え等）を行い、専門的知識・実務経験をもとに収入未済額の圧縮を行う。

## 2. 採用期間

平成30年8月1日から平成33年7月31日（原則として採用より3年間）＜予定＞

## 3. 応募資格

次の（1）～（3）の要件をいずれも満たす者

（1）次のいずれにも該当しない人

- ・ 成年被後見人又は被保佐人（民法の一部を改正する法律の規定により従前の例によることとされる準禁治産者を含む）
- ・ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ・ 奈良県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ・ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者
- ・ 奈良県税等の滞納がある者

(2) 次の応募要件を満たす者

- ・ 税の滞納処分に関する事務に20年以上従事した経験を有する者
- ・ 民間金融機関又は債権回収会社等で債権回収業務に20年以上従事した経験を有する者で、かつ債権回収に関して裁判所の手続業務で支払督促や少額訴訟手続の実務経験を有する者

(3) 資格

- ・ 普通自動車運転免許

※国籍についての要件

- ・ 「日本国籍を有しない人は、公権力の行使又は公の意思形成への参画に携わることはできない」とする公務員に関する基本原則に基づき、日本国籍を有しない人は受験できません。

4. 選考日程・会場・合格者発表

	日 程	会 場	合 格 者 発 表
第一次選考	書類選考 平成30年4月6日(金)(必着) までに、課題論文に必要書類を添えて提出してください	—	平成30年4月16日(月)【予定】 〔第一次選考応募者全員に郵送にて合否を通知します〕
第二次選考	平成30年4月23日(月)【予定】 詳細については、第一次選考合格通知の際にお知らせします	奈良市内【予定】	平成30年5月8日(火)【予定】 〔第二次選考出席者全員に郵送にて合否を通知します〕

※ 第二次選考合格者に対して、職務遂行に必要な健康状態を有するかどうかの判断を行うため、指定する医療機関において健康診断を実施します。なお、実施方法等については第二次選考合格者への合格通知で案内します。

5. 選考等の概要

種 目	内 容
第一次選考	論文審査 業務に必要な専門知識、企画内容等についての論文審査 【論文審査課題】 「これまでの税務経験や債権回収業務経験における取組と成果を具体的に述べること。またこれまでの経験を活かして困難案件にどのように取り組んでいくか、採用後の抱負を述べること。」 ※(別紙1)の論文作成要領に従い作成してください。
	経歴審査 応募資格の有無、申込書記載事項の真否、実務経験等についての審査
第二次選考	面接選考 専門知識及び職員としての適性等について個別面接による選考

## 6. 応募手続

必要書類	1. 応募書（様式1） 2. 論文 ※（別紙）の論文作成要領に従い作成してください。 3. 資格を証明する書類 ※運転免許証の写し 4. 最終学歴の卒業証明書・成績証明書 ※最終学歴が大学院である場合は、大学の卒業証明書及び成績証明書も併せて提出して下さい。 ※手続き上の理由で期限に間に合わない場合はご連絡下さい 5. 返信用封筒2通 （23.5cm×12cmの定形封筒2通それぞれに切手362円分を貼り、郵便番号及び住所・氏名を明記）
申込方法	必要書類を、奈良県総務部人事課人事政策係まで直接持参するか、又は書留など確実な方法で郵送してください。 ※ 郵送の場合は、封筒の表に必ず「 <u>選考(任期付職員)応募</u> 」と朱書きしてください。
受付	期間 平成30年3月16日（金）～平成30年4月6日（金） 時間 午前9時～午後5時 ※ 直接持参の場合、土曜日、日曜日及び祝日は受付を行いません。 ※ 郵送の場合は、4月6日（金）必着です。申込最終日間近に郵送される場合は、必ず速達扱いの書留で送ってください。 <u>4月12日（木）までに「応募受付票」が到着しない場合は、奈良県総務部人事課人事政策係まで必ずお問い合わせください。</u>

## 7. 給料等

初任給は、採用までの経験年数等に応じて条例等の定めるところにより決定されます。

（参考）大学卒業直後から税の滞納処分に関する事務に20年以上従事し、現在に至る場合  
月額380,600円

その他手当として、扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が条件に応じて支給されます。

※なお、給料等は平成30年1月1日現在の条件で表記しています。

## 8. 勤務条件等

勤務時間は、1週38時間45分で、原則として週休2日制です。

年次有給休暇等は、職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の規定に基づき付与されます。

※なお、勤務条件等は平成30年1月1日現在の条件で表記しています。

## 9. その他

この採用選考の応募者は、合格発表の日から1月間（第一次選考合格者は、第二次選考の合格発表の日から1月間）、選考の結果（総合得点及び順位）について、奈良県個人情報保護条例に基づき口頭により開示を請求することができます。

詳細については直接お問い合わせください。



資格・免許等（取得年も併せて記載してください）

応募の動機

◎ 私は、地方公務員法第16条に規定する次の各号のいずれにも該当していません。

- 1 成年被後見人又は被保佐人（準禁治産者を含む）
- 2 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 3 奈良県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- 4 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

◎ この申込書の記載内容はすべて事実と相違ありません。

平成 年 月 日

氏 名（自署）

[注意事項]

1. 氏名は必ず自署してください。
2. 記載事項に不正がある場合、採用される資格を失うことがあります。
3. その他記載方法については、募集案内の記入要領をよくお読みください。

## 応募書記入要領

- 1 ※欄を除くすべての欄に、正しく記入してください。記載事項に不正があると、採用される資格を失うことがあります。
- 2 黒のインク又はボールペンでもれなく記入してください。数字は算用数字を用い、ふりがなはひらがなで記入してください。
- 3 連絡先欄には、単身赴任等で職員寮などに居住している場合、休暇などで帰省するところを記入してください。また、現住所以外に早く連絡できる場所があれば記入してください。
- 4 勤務先欄には、現在就労している勤務先を記入してください。現在就労していない場合は記入する必要はありません。
- 5 学歴欄の学校名は最終学校とその前2つを、学部・学科は専攻科まで詳細に記入してください。学位については取得年、大学、専攻分野を記入してください。

(記入例)

昭和50	3	〇〇県立〇〇高等学校 卒業
昭和54	3	□□大学□□学部□□学科 卒業
昭和56	3	△△大学大学院△△専攻科 修了(中退)

- 6 職歴欄は、今までのいっさいの職歴（自営業は含み、短期のアルバイトは除く。）について職歴順に詳細に記入してください。（無職の期間がある場合なども例に従って記入してください。）  
 なお、会社・官公庁内での役職名が多数ある場合には、就任した順にその役職名を全て記載してください。また、欄が不足する場合は、別紙（様式任意）を添付してください。

(記入例)

昭和50	4	◇◇株式会社 入社	◇◇業務に従事
昭和53	4	無 職	
昭和54	4	家業（▽▽業）に従事	
昭和56	4	〇〇株式会社 入社	〇〇業務に従事
昭和63	4	同社 □□支店□□課長	□□業務に従事
平成 7	7	同社 本社△△部△△課 課長代理	△△業務に従事
平成13	7	同社 本社〇〇部〇〇課長	〇〇業務に従事
		現在に至る	

- 7 資格・免許等欄には、語学検定、特殊技能などがあれば記入してください。なお、取得見込みの資格があれば、併せて記入してください。
- 8 記入不足がある場合は、受付をしない場合があります。（郵送の場合は返送します。したがって、そのために、申込締切日に間に合わなくても当方では責任を負いかねます。）
- 9 裏面には、応募資格を有することを宣誓していただくため、署名は必ず自筆で行ってください。

## 論文作成要領

【論文審査課題】「これまでの税務経験や債権回収業務経験における取組と成果を具体的に述べること。またこれまでの経験を活かして困難案件にどのように取り組んでいくか、採用後の抱負を述べること。」

- 1 用紙は、A4判（日本工業規格）を使用してください。
- 2 記載方法は、縦置き・横書きとし、ワープロ、自筆いずれでも結構です。
- 3 記載内容は、「滞納徴収員」、氏名を頭書に記載し、以下本文を記載してください。
- 4 字数については、頭書を除き、2,000字以内にまとめてください。  
また、表、図等を用いても構いませんが、A4判2枚までとし、本文中、文末いずれに用いても構いません。（論文全体で用紙枚数が5枚以内になるようにしてください。）
- 5 論文作成にあたり、引用した論文、著作があれば、最後に著書名、著作者、頁数等を掲載してください。（論文の字数には含めませんので、別紙として提出していただいで結構です。）

（作成見本）

（A4判）

滞納徴収員

氏 名    ○ ○    ○ ○

（以下、本文を記載してください）